



校訓：躍動・責任・勤勉

学校教育目標：自他を認め、高め合い、『共創』する生徒の育成

令和8年7月7日

校長 西山 敏明

『共創』

市中総体を終えて ～次なるステージへの躍進に向けて～

去る6月13日・14日・20日・21日に諫早市中総体が開催されました。結果、7団体の優勝、5団体の準優勝をはじめ、個人でも多数入賞し、延べ156名の生徒が3位以内入賞を果たす大健闘を見せてくれました。この輝かしい成果を、心から誇りに思います。

一方で、悔しい思いをした選手たちもたくさんいます。しかし、上位入賞こそは逃したものの、仲間と共に目標に向かって挑み続けた日々の価値は決して変わりません。その努力のプロセスこそが、これからの自分を支える確かな財産となったと思います。

表彰伝達式では、入賞した部・個人を紹介し、団体優勝した代表に賞状と優勝旗を手渡しました。**賞を受け取る生徒たちの引き締まった表情、そして、その受賞者を全校生徒が真剣なまなざしで見守っている姿が印象的でした。互いの健闘を称え合い、そこから何かを学び取ろうとする態度に、生徒たちの大きな心の成長を感じました。**

7月17日の終業式の日には、県中総体激励会を行います。次のステージへ進む選手たちには、学校の代表としてまた素晴らしい経験を積んできてほしいと願っています。



西中をよりよくするために ～真剣な対話で深まった生徒総会～

6月19日（金）、生徒会会則に基づき、生徒総会を実施しました。今年の総会では、制服のあり方や日頃の授業への臨み方など、身近で大切な課題について真剣に考え、学級代表の総務委員が堂々と考えを発表しました。それに対して、近くの仲間と協議して考えを深め合い、さらに別の視点から学級代表が新たな意見を出すなど、活発な議論が展開されました。

生徒会役員が中心となって見事に会を進行し、学校全体に「西中をよりよくしたい」という強い思いが満ちあふれる、大変頼もしい総会となりました。

自分たちの学校の課題を自分事として捉え、対話を通して解決していこうとする姿に、生徒たちの「自治力」の高まりを感じています。今回の総会を契機に、生徒たちが自ら考え行動する力をさらに伸ばし、より素晴らしい西中を共創してくれることを心から期待しています。



互いの心に寄り添う一週間に～「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を終えて～

本校では、6月29日（月）から7月3日（金）までの期間、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を実施しました。

初日の1時間目には、体育館にて全校生徒を対象に校長講話を行いました。講話では、医師の日野原重明先生の「いのちの授業」の映像を交えながら、**命とは「自分が使える時間」**であるということ、そして大人へのステップとして、**その時間を「誰かのために使える人」**になってほしいという話をしました。

「命」や「心」は目に見えません。しかし、それは日々の**言葉や仕草(心づかい)**となって必ず表れます。講話の後半では、学校生活アンケートの自由記述に挙げられた日頃の**学校生活の中の生徒たちの「目に見える優しい心づかい」の数々**をスライドで紹介しました。

「困っているときに分かりやすく勉強を教えてくれた」「トイレのスリッパを並べるのを手伝ってくれた」「落ち込んでいるときに励ましてくれた」……。これらはすべて、生徒たちが自分の大切な「時間（いのち）」を、誰かのために使った素敵な証拠です。

一方で、まだまだ、心ない言葉を言ってしまったり、人に迷惑を掛けるような行動をとってしまったりする生徒も見受けられます。理想通りにいかない現実があるのもまた事実であり、これらは今後の指導の中でしっかりと向き合わせていかなければならない課題です。

7月2日（木）には、全学級で道徳の公開授業を実施しました。1年生は「自分の番、いのちのバトン」、2年生は「あなたの『生きようとする力』」、3年生は「家族の思いと意思表示カード」を題材に、それぞれ「いのち」について深く見つめ直しました。それぞれのテーマに対し、自分事として真剣に向き合い、考えを深めようとする生徒の姿が大変印象的でした。

この教育週間の期間中、授業参観や学年・学級育友会に多くの保護者の皆様にご出席いただき、誠にありがとうございました。ご家庭におかれましても、この機会にぜひ、日頃の生き方や命の重みについて、言葉を交わすきっかけにいただければ幸いです。



「少年の主張大会」から ～広がってほしい「プラスの化学変化」～

7月1日（水）に開催された「わたしの主張～少年の主張諫早市大会～」において、**3年の さんが「自分の中の科学変化」と題して出場しました。**大舞台の緊張感をはねのけ、終始堂々とした表現力で自らの思いを語り切った姿は実に誇らしかったです。水泳部1年時の3年生の先輩の丁寧な指導に対する感謝を胸に、**今度は自分が副キャプテンとして周りを支え、プラスの化学変化を広げていこうとする決意、そして将来の夢へ向かって前を向く凛とした発表**に、心から大きな拍手を送ります。



大会全体を通す中で、自らの持つ特性や困難に正面から向き合い、周囲の理解を切実に訴える姿がみられるなど、現代の中学生が日頃の葛藤から紡ぎ出した生きた言葉の数々は、どれも高い熱量を持ち、聞き手として激しく心を揺さぶられました。

自らの言葉で未来や社会をしっかりと見つめ、語る各校の代表生徒の姿に確かな頼もしさと、諫早市の中学生の未来への大きな希望を確信した一日となりました。

1学期の総括 そして自分で時間をデザインし、多様な経験に挑む夏へ

まもなく1学期の締めくくりを迎えます。生徒たちは日々の学習や部活動、生徒会活動などを通して、心身ともに大きく成長する姿を見せてくれました。保護者の皆様の温かいご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

このあと迎える**夏休みは、自分で選択して使える時間が大きく増える貴重な期間**です。まずは1学期の学習や生活をしっかりと振り返り、自分の課題改善に向き合う時間にしてほしいです。また、**この時期だからこそできる多様な経験に挑戦してほしいと思います。**ご家庭におかれましても、事件や事故、SNSのトラブル等に十分注意し、自律した規則正しい生活が送れるよう、温かい見守りと声かけをお願いいたします。